

令和3年度下期 産学連携拠点データ活用促進費 選定一覧

プログラム	分野/研究領域	拠点名(代表機関名)	データ活用連携機関	実施計画概要
共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)	共創分野	炭素循環型社会実現のためのバイオエコノミーイノベーション 共創拠点(東京農工大学)	・株式会社日本バイオデータ	本拠点では、バイオマス材料の獲得とその変換のために様々な植物や微生物を開発するが、その基盤となるのはゲノムと遺伝子発現の情報である。本拠点で対象とする植物や微生物は独自のものであり、拠点において解析を行い、そのデータから重要な情報をマイニングすることが必要となっている。本格型に移行した段階では多数の植物や微生物を開発するので、膨大なゲノムデータの解析と利用が必要となる。本促進費では、ゲノム、トランスクリプトーム解析、そのデータの保存、管理、利用するための技術を確立し、本格型における研究開発の基盤を構築する。
共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)	共創分野	免疫を標的とするヘルステックイノベーションエコシステム実 現拠点(九州大学)	・九州大学 情報基盤研究開発センター ・九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所	当拠点では、新型コロナウイルスパンデミックにより訪れた「超清潔社会」によって将来的に急増が予想される「免疫の乱れに起因する疾患」の予防技術の実用化に向け、4つの課題を推進する。本促進費では、それら課題をデータで接続し、発展を可能とするためのデータインフラを構築する。様々な生体センサや免疫制御技術のデータベースの追加構築・導入も視野に入れて本インフラを設計することで、当拠点の枠組みに留まらない汎用性・拡張性を付与する。すなわち、バックキャストによる駆動目標・研究開発課題の修正・追加に対しても柔軟に対応可能なアジリティを持ち、当拠点のDXを支える革新的なデータインフラの構築を図る。
共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)	地域共創分野	美食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの醸成共創拠点 (東北大学)	・一般財団法人リモート・センシング技術センター ・三重県水産研究所 ・マルティススープ株式会社 ・株式会社NTTドコモ	沿岸海域における漁業生産や生物資源量の変動メカニズムを把握するためには、水温、塩分などの基本的な環境データの収集・蓄積と、人工衛星リモートセンシングを活用した広域画像解析によるクロロフィルa濃度(基礎生産量)や藻場・アマモ場の分布のモニタリングなどを組み合わせることが求められる。本提案では、海洋環境情報を収集するのみならず、全国の沿岸海洋環境情報を集積・共有できるプラットフォーム構築を目指す。拠点で実施する現地調査結果を、リモートセンシングやリアルタイム観測バイを使ったモニタリング技術と融合することにより、環境変動が養殖生産や生態系の基礎生産量に与える影響を明らかにすることを旨とする。
共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)	地域共創分野	・高知大学をとりまとめ機関とする共同提案  SAWACHI型健康社会共創拠点(高知大学) こころとからだのライフデザイン共創拠点(北海道大学)	・高知工科大学 情報学群 ・一般社団法人高知医療介護連携システム ・株式会社日立製作所 デジタルヘルスケア本部	「SAWACHI型健康社会共創拠点」と「こころとからだのライフデザイン共創拠点」が連携し、各拠点が収集を計画している血圧、体重、生活活動等のPHR/PLR情報に加えて、1)運動時の動作や会話時の表情等の動画データ、2)会話等の音声データを収集する。また、これらのデータを用いて医療・介護・健康データとの関係性を分析することにより、定量的な評価指標の作成や、会話・運動から現在の身体的・精神心理的健康状態の予測モデルを開発し、両拠点のPHR/PLR情報に新たな価値を創造する。医療・健康データの取得・共有・分析について両拠点が協力し、データの利活用を推進することで、各拠点の研究開発を加速する。
共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)	地域共創分野	インテリジェント養殖を基軸にした「ながさきBLUEエコノ ミー」形成拠点(長崎大学)	・長崎大学・情報データ科学部 ・長崎大学・ICT基盤センター	生け簀内の環境DNAサンプルを経時的にメタゲノム解析することにより得られる生け簀内の共生微生物相の環境DNAデータベースと、バイオロギングによる魚の行動データ、衛星・ドローン等を用いたリモートセンシングによる海洋環境データ、自動給餌等の介入データ、養殖魚の育種課程で参照される家系ゲノムデータといった、本拠点で収集される多様なデータと多層統合できるデータセットにより、微生物叢から養殖環境の推移を予測するモデルを構築することで、生け簀状態を健全に保つための介入方法を先制的に提案可能なデータ利活用基盤を構築する。データセットの一部は、長崎県が進めるデータ連携基盤との接続により広く一般にも公開する。